

昭和21年5月22日第3種郵便物認可 (毎週火曜日発行) 月ぎめ定価 3,960円 (本誌価格3,600円+消費税360円)

活字文化をひらく—文化通信社

2026年(令和8年)

The Bunka News

4月21日

火曜日

サプライチェーンの構造自体変える

DXと物流を組み合わせ、出版流通の構造改革へ

丸の内、講談社、小学館、集社が共同出資して設立したPubtexは4月、書店RFIDサービスを本格化する年目を迎えた。同社は今年、デジタル技術活用し、出版サプライチェーンの効率化を図るが、市情報局の集約された物流の構築に努めるとしている。今後の課題も展望について、渡辺順氏に聞いた。

【聞き手 星野 暁 構成・野原 悠】



Pubtex代表取締役社長・渡辺順氏に聞く

AIとRFIDの二軸で出版流通DXを推進

「事業の進捗について教えてください。現在出版流通業界は大きく2つの課題があります。一つはAIを活用した発注・在庫管理の効率化、もう一つはRFIDを活用した店舗・流通の可視化のためのIoTを推進することです。」

AIに関しては、年度中に導入書店100店舗を目ざして進めています。RFIDについては、今年中に導入書店100店舗を目ざして進めています。RFIDについては、今年中に導入書店100店舗を目ざして進めています。

「このAIソリューションだけで業の課題がすべて解決するとは思っていません。むしろ、物流改革に向けた足がかりとなる取り組みを位置付けています。」

「11店舗まで広がりました。せめて100店舗まで広がると、この1年の進捗は大きく進むと思います。書店のみなさんに、ぜひこの取り組みを積極的に推進してほしいです。」

「RFIDは、出版流通のDXを推進する重要な要素の一つです。AIとRFIDの二軸で出版流通DXを推進することで、出版流通の構造改革を実現できると思います。」

「出版流通のDXは、出版流通の構造改革を実現するための重要な要素の一つです。AIとRFIDの二軸で出版流通DXを推進することで、出版流通の構造改革を実現できると思います。」

「出版流通のDXは、出版流通の構造改革を実現するための重要な要素の一つです。AIとRFIDの二軸で出版流通DXを推進することで、出版流通の構造改革を実現できると思います。」

前向きに協力したミックスは現状10%程度の貼付率だった結果だと思... 出版流通のDXは、出版流通の構造改革を実現するための重要な要素の一つです。AIとRFIDの二軸で出版流通DXを推進することで、出版流通の構造改革を実現できると思います。

(6) (面) (新) (文)

